

おしえて！

感染症さがみはら

2025年7月号

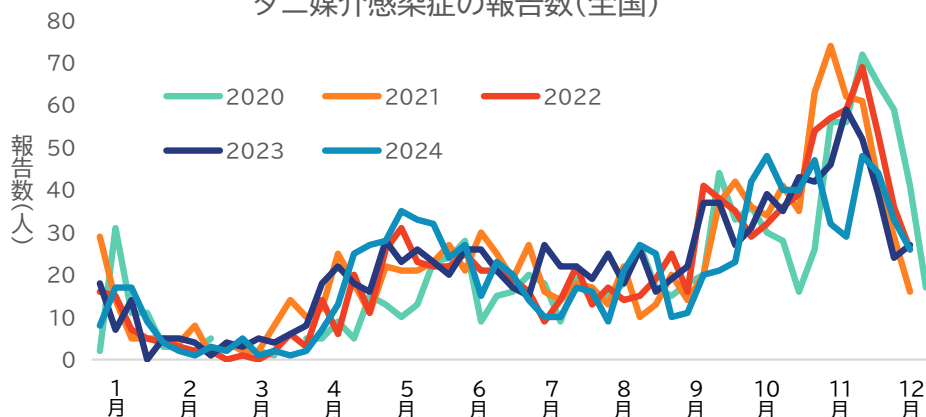


今月の注目疾患：ダニ媒介感染症

ダニ媒介感染症とは、病原体を保有するダニに刺されることによって起こる感染症で、日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ツツガムシ病などがあり、ダニの活動が盛んな春から秋に報告数が増加します。

予防のためにはダニに咬まれないことが重要です。これからの季節、登山・農作業・キャンプなどの屋外作業をする方はダニに咬まれないよう特に注意しましょう。

ダニ媒介感染症の報告数(全国)



春から秋に
増加傾向！

もし咬まれてしまったら…

○マダニ類の多くは、ヒトや動物に取り付くと皮膚に口器を突き刺し長時間(数日～10日間以上)吸血します。
吸血中のマダニに気づいたら**自分で除去せずに**医療機関を受診して下さい。
※無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残って化膿する恐れがあります。

○咬まれた後数週間程度は体調の変化に注意し、消化器症状・倦怠感・発熱等がある場合は医療機関で診察を受けましょう。
受診の際は、①屋外活動の日付 ②場所 ③発症前の行動を伝えましょう。



マダニ吸血前後の大きさ比較



屋外作業前の対策



肌の露出を減らす

長袖・長ズボン(スパッツ)を着用する、手袋・帽子を着用する、首にタオルを巻く、足を完全に覆う靴を履く(サンダル等は避ける)など、露出の少ない服装を心がけましょう。



虫よけを使用する

有効成分としてディートやイカリジンを含む忌避剤(虫よけ)を使用しましょう。
※小児に使用する際は使用上の注意をよく確認しましょう

屋外作業後の対策



ダニを持ち込まない

建物に入る前に、服にダニが付着していないか確認しましょう。
付着していた場合はガムテープ等で取り除きましょう。



体についていないかチェック

マダニに咬まれても自覚症状がないことが多く、気づかない場合が多いとされています。
屋外活動後はすぐにシャワーや入浴を行い、ダニが体に付着していないか確認しましょう。



ペットの対策も万全に！

ペットを介して家庭内にマダニが持ちこまれる可能性があります。ペットが外から帰宅したら体にダニが付着していないか確認しましょう。

